

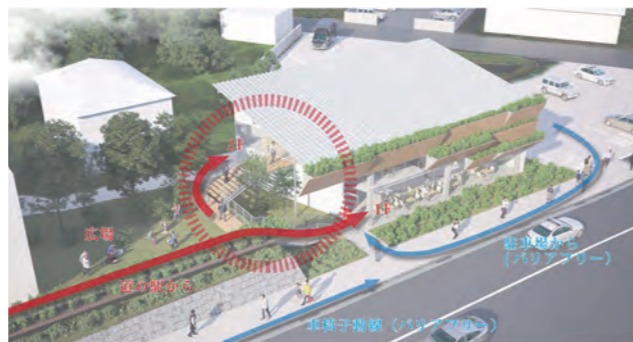
Voice



Wakana Design  
一級建築士事務所  
代表 鈴木祐子さん

一流事務所・隈研吾氏の建築物は町の財産

境町に隈研吾氏の作品が残っていることは、とても画期的です。周りからの注目度も高く、視察、見学などで沢山の方が境町を訪れると思います。一流事務所のお仕事を近くで拝見できる喜びも大きいですが、しっかりと境町と隈事務所との意図を理解し、境町のまちづくりに少しでも貢献出来ればうれしいです。



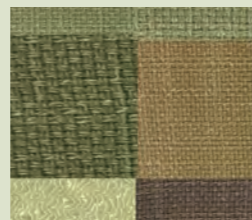
道の駅さかいと新施設をつなぐスペースには、大きな広場と外階段があり、外ににぎわいを広げる施設。町に新たな人の流れを生み出し、河岸のまちとして栄えた境町として、交流の拠点となる河岸蔵を作ります

さしま茶染めのファブリックが柔らかく迎え入れます



1階は開放感のあるビュッフェレストラン。階段を上がると中2階には、地産地消を体感できる物販や梅豚山の生ハム工房、さらに階段を上がると2階には、お茶文化を発信するさしま茶のサロンや鉄板焼きを楽しめるようになっています

自然環境に配慮した素材



町の特産品を使用したさしま茶染めファブリック



廃素材をリサイクルした吸音効果の高い内装パネル



アスファルトの路面温度を下げる舗装剤



県産木材を利用した茶畑ポッドで太陽光を遮断

写真はイメージ

NEWS

道の駅さかい 駐車場が広くなりました

駐車台数 14台増

道の駅さかいの駐車場は、利用者の増加により満車になることも多く、駐車スペースが課題でした。道の駅に対して、縦型の駐車スペースを横型に修正したことで、55台から69台へと、駐車台数を14台増やすことができました。これからも皆さんが快適に利用できるよう改善して参ります。



駐車時の動線がスムーズになり、空車スペースも見やすく変わりました

道の駅さかい レストラン増築プロジェクト

ビュッフェ、鉄板焼き、カフェを併設

「道の駅さかい」に 新施設ができます

新国立競技場を手がけた  
くまげん 隈研吾さんが設計！



レストランの模型を手にする隈研吾さん(左)と橋本町長

コンセプトは「食」が人と町を結ぶ、にぎわいの茶蔵



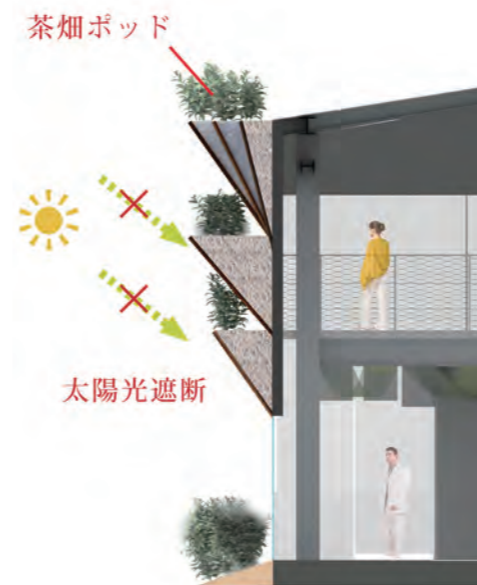
外観に茶畑ポッドをあしらった境町らしさを表現。敷地面積は600㎡で、鉄筋構造の二階建て、延べ床面積は380㎡

「道の駅さかい」の北側にレストランを増築する工事が始まります。設計は、建築家の隈研吾さん(隈研吾建築都市設計事務所)に委託。隈さんは、2020年東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場をはじめ、ホテルや美術館など様々な建築物を設計しており、県内では取手市の県南総合防災センターを手がけています。道の駅に携わるのは、高知県橋原町、秋田県鹿角市(工

総工費約2億円のうち75%は国の財源である地方創生拠点整備交付金等を活用しています！

約1億5,000万円補助金を獲得！

「道の駅さかい」の北側にレストランを増築する工事が始まります。設計は、建築家の隈研吾さん(隈研吾建築都市設計事務所)に委託。隈さんは、2020年東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場をはじめ、ホテルや美術館など様々な建築物を設計しており、県内では取手市の県南総合防災センターを手がけています。道の駅に携わるのは、高知県橋原町、秋田県鹿角市(工事中)に続き3ヶ所目。レストランは2階建てで、1階は地産地消を提供するビュッフェレストラン、2階ではさしま茶やケーキを楽しめるカフェや特産の梅豚の鉄板焼きを提供する予定です。外観は、町の特産品の「さしま茶」と建築物の融合が見事で、外壁を覆うように設置されたポッドには、さしま茶の木が植えられ、太陽光を遮断するとともに、境町らしさを表現しています。レストランの店内は、さしま茶染めの布地を天井と壁に張り巡らせ、自然環境への配慮も考えられたモダンなデザイン。利用者が快適に過ごせるような空間作りが至るところに工夫されています。本年度内の完成を予定しています。完成まで、どうぞお楽しみに！



新施設の影響をより強くする茶畑ポッド。県産木材を使用したプラントボックスは新国立競技場と共通する部分があります。茶畑ポッドが太陽光を遮断し、優しい光を店内に運びます